



年頭のあいさつ

管理者 · 伊豆市長 菊地 豊



新年あけましておめでとうござい

申し上げます。 皆様方におかれまして、深く感謝 好学園の運営に対し、多大なるご理 り学園の運営に対し、多大なるご理 りで、で表よ がよるででである。また、平素よ

事態宣言の発出もありません。十一 ちは必ず未来に継承してまいります。 感しました。創設者の篤志を、私た 落成式や集合写真、多くの活動を収 年を迎えました。十一月二十日に行 月には軽症者向けの飲み薬が厚生労 置の適用が解除され、 み重ねられた歴史の重さを改めて実 めたスライドショーが上映され、積 われた記念式典では、 駿豆学園は、令和四年で創立五十周 新型コロナウイルスにつきまして 昭和四十七年四月にスタートした 昨年三月にまん延防止等重点措 それ以降緊急 学園創設時の

働省に緊急承認されるなど、徐々にコロナの脅威から脱しつつあります。時では三密の回避、マスク着用、消園では三密の回避、マスク着用、消園では三密の回避、マスク着用、消園では三密の回避、マスク着用、消園では三密の前目の年に向けた第一を迎え、次の節目の年に向けた第一を迎え、次の節目の年に向けた第一を迎え、次の節目の年に向けた第一を迎え、次の節目の年に向けた第一です。遠くない未来、制約の無いイベントができる日が来ることを願ってやみません。

昨年九月、オーストリアで開かれた国際ろう者スポーツ委員会の総会において、聴覚障がい者の総合的なにおいて、聴覚障がい者の総合的なりの二〇二五年夏季大会が東京でク」の二〇二五年夏季大会が東京でク」の二〇二五年夏季大会が東京でク」の二〇二五年夏季大会が東京でク」の二〇二五年夏季大会が東京で大のロードとマウンテンバイクの会関催されることが決策した。このことが多様性や調和を育む契機となることを願いつつ、SDGsが目指す「誰とを願いつつ、SDGsが目指す「誰とを願いつつ、SDGsが目指す「誰とを願いつつ、SDGsが目指す「誰とを願いつつ、SDGsが目指す「社会を目指してまいります。

といたします。 結びに、皆様の益々のご健勝とご

新たなスタートの年

園長 天良 昭彦

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがます。皆様におかれましてはつつがいより厚くお礼申し上げます。り心より厚くお礼申し上げます。時年十一月二十日には駿豆学園に温かいご支援並びにご協力を賜ったり厚くお礼申し上げます。

昨年十一月二十日には駿豆学園創町年十一月二十日には駿豆学園創立五十周年記念式典が開催され、おかげさまで半世紀の節目を祝うことかげさまで半世紀の節目を祝うことかけさまで半世紀の節目を祝うことができ、今年は新たなスタートの年となりました。記念式典の企画に当会を頂き、五十年という歳月は本当に数多くの方々が駿豆学園に関わりたさった歴史でもあると実成しました。まさに多くの方々と聞えてくださった歴史でもあると実をしました。まさに多くの方々と問題が開催され、お

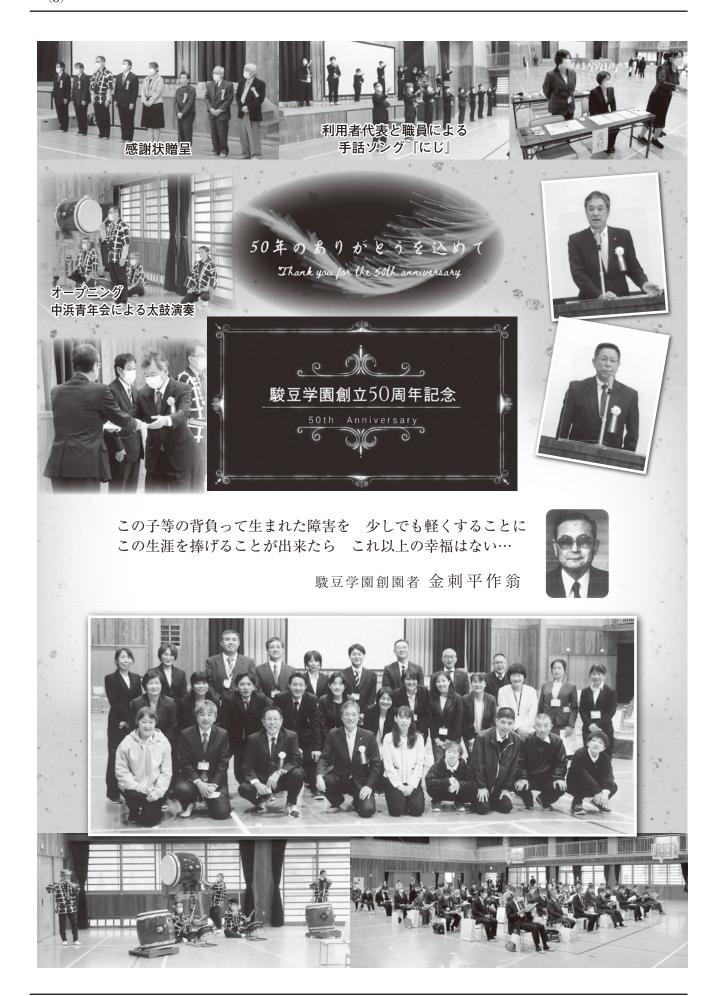
その瞬間に水に流して忘れること」は水に流せ 受けた恩は石に刻め」は水に流せ 受けた恩は石に刻め」は水に流せ 受けた恩は石に刻め」はかを助けたり、優しくしたことは、より多くのひとに施すこと。反対に、より多くのひとに施すこと。反対に、おの好きな格言に「かけた情け

思います。 という意味です。もともとは、仏教経典にあった「懸情流水 受恩刻石(情を懸けしは、水に流し、恩を受けしは、石に刻むべし)」から来ている言葉だそうですが大変奥深いという意味です。もともとは、仏教

人は誰も多くの人の優しさに助けられたり、時には自分が誰かを助けられたり、時には自分が誰かを助けられたり、時には自分が誰かを助けるのではないでしょうか。私自身あるのではないでしょうか。私自身あるのではないでしょうか。私自身あるのではないでしょうか。私自身からの恩を忘れないように努力し生からの恩を忘れないように努力し生きていければと思います。

活き活きとした姿がありました。
活き活きとした姿がありました。
活き活きとした姿がありました。

を進めて参りたいと思います。石流水」の精神で新たな歴史に歩み義に感謝し、駿豆学園としても「刻えの五十年間に受けた数多くの恩















专方司号



おります。 ろを閲覧できます。

【お知らせ】

皆様のご厚意に御礼申し上げます。

日赤奉仕団土肥分団様

新田共栄様

セブンイレブン伊豆市土肥店様 国際ソロプチミスト伊豆天城様

恋人岬簡易郵便局様

ぜひ御覧ください。 www.sunzugakuen.jp/ りす。 用したリモートでの面会も実施して てご確認ください。パソコン等を利 アドレスは 駿豆学園ホームページでもあすな 面会をご希望の方は、事前に電話に

集後記





う、職員一同協力し合い、支援をし の新たな一歩を飛躍的に過ごせるよ ていきたいと思います。 ホップ・ステップ・ジャンプ!学園 する年を迎えました。本年は卯年、 昨年は、五十周年という、記念

れ あ い 広 場

ふ

―善意を寄せられた方々―

クルール様

(株)伊豆恋人の里不動産様

鳥沢映代様

潮木信様